

生き物を描く

サイエンスのための細密描画



ゴキブリヤセバチの一種 画：川島逸郎

2015 7.18 [土] ▶ 11.3 [火] [祝]

開館時間 9:00~16:30 入館は16:00まで

休館日 9/7・9/8・9/14・9/24・9/28・10/5
10/13・10/14・10/19・10/26・11/2

内容の紹介

生物をスケッチして生み出される生物画は、生物学の発展とその知見の普及に大きく貢献してきました。単純な線画から精緻な点描画、わかりやすい図鑑や本の挿絵など、私たちが生物画に接する機会は意外に多いものです。しかし、観察したことをわかりやすく伝えるために施された数多くの工夫や、作図を裏で支えるテクニックを知る機会はありません。

今回の特別展では、博物館が収蔵する資料を中心に、サイエンスの世界での生物画の魅力や重要性を解説し、それを支える道具やテクニックを、学芸員やプロの制作した生物画を織り交ぜながら紹介します。

みなさん、生物画を「科学的な視点」から楽しんでみませんか？

関連行事

※詳細はホームページをご覧ください、当館までお問い合わせください。

◎ 特別講演会(当日先着 300名)

「サイエンスにおける生物画とその世界」

8月1日(土)13時30分~16時

場所：博物館 SEISA ミュージアムシアター

演者：盛口満氏(沖縄大学教授、ゲッチョ先生)

川島逸郎氏(川崎市青少年科学館 学芸員) ほか

◎ ワークショップ(事前申込み・定員制)

「描いて観て楽しむ小さな世界」

9月21日(月・祝)開催

講師：大山葉子氏(白神キノコの会)

「ディスカバーミュージアム 野鳥を描いてみよう！」

11月1日(日)10時~16時

講師：神戸宇孝氏(C.W.ニコル・アフアの森財団研究員)

◎ 子ども向けワークショップ(当日受付)

よろずスタジオ「いきものスケッチ」

7月26日(日) / 8月9日(日) / 8月23日(日)

9月13日(日) / 10月11日(日) 各13時~15時

◎ 第117回サロン・ド・小田原(当日受付：友の会共催)

「絵本制作のための昆虫観察日記・

しでむし/ぎふちょう/つちはんみょう」

10月31日(土)17時30分~18時30分

場所：博物館講義室

話題提供：館野鴻氏(生物画家)

利用案内

観覧料(常設展含む)	個人	団体(有料人員20人以上)
20歳~64歳(学生を除く)	720円	610円
20歳未満・学生	400円	300円
高校生・65歳以上		200円
中学生以下		無料

◎ 交通案内

電車……箱根登山鉄道「入生田(いりうだ)」駅下車、徒歩3分
入生田駅までは、小田原駅から10分、箱根湯本駅から5分
車……国道1号線「地球博物館前」交差点(歩道橋に表示あり)入
屋内駐車場あり、無料

※夏季休業期間および土曜、日曜、祝日は周辺道路及び駐車場が大変混雑します。
できるだけ電車をご利用ください。

協力：川崎市青少年科学館、杉浦千里の作品保存会、大阪市立自然史博物館
東京大学総合研究博物館、神奈川県植物誌調査会、東海大学出版部、小田急グループ



神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

〒250-0031 小田原市入生田 499 TEL: 0465-21-1515 FAX: 0465-23-8846
<http://nh.kanagawa-museum.jp/>

